



Subaru

男声合唱団

ニュース№557

'16. 5. 2

吉田亜矢子先生の特別レッスン開催

4月29日

□ 4月29日（金・祝）、吉田亜矢子先生を迎えて、声楽を主とした特別レッスンが開催されました。体操は奥村さん、その後は、亜矢子先生の、いつもの、体を楽器としての調律に始まり、「白樺」と「川の流れるように」のレッスンを通じて、発声発音のあり方を主として指導して頂きました。ピアノは森さんで参加は全31名でした。

□ 吉田亜矢子先生の指導は、今回で7回目です。毎例のごとく、足のくるぶしからアキレス腱に沿って上へマッサージしながら、また足指をさすったり広げたりしながら、舌がふわっとなる、つばが出る、目の奥や顔のひろがり、肺の広がり、頭の広がりを感じてくるといった、体の自然体調律をまず行いました。

□ 今回は亜矢子先生が体感で得た発声法を教わりました。「のどはあけておいて、上から下へ向かって吐く、下の目標は横隔膜。」前は、「腰から声帯の後ろを通して息を吐く」と指導していましたが、今回の方法でやって歌ったほうが、体感的によかったし、聞いた方の評判もよかった。「横隔膜という目標に息が当たっている感じ、こうすると音程がしっかりとれている、当たる感じをつかむ」。

□ また、いろいろの指導の中で特に強調されたのは、「のどの奥を後ろに広げる、頭の後ろを広げる」こと、これがとても大事。1曲の中で何度ものどの奥を広げる、3分の曲なら20回ぐらい広げる。

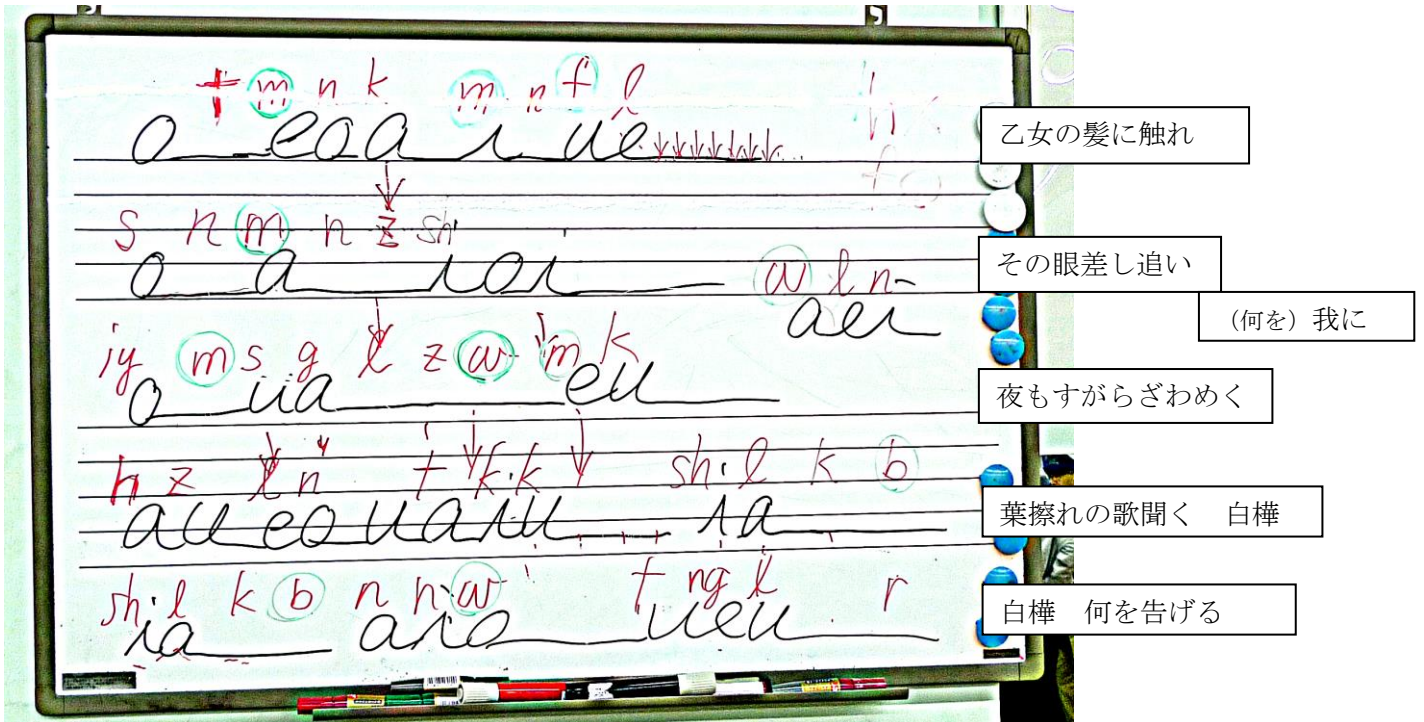


□ 音程が少しでも高くなると、「のどの奥をあける」。1オクターブ高くなると「もっと、のどの奥をあける」。意識は声帯に触らない。触ると声帯が硬くなる。触るのをやめると、声帯が柔らかいまま。声帯=のどは、何にもがんばらない。

□ のどの奥を広げて、視野を広げ、意識を広げる。視野と意識が広がったところまで声が届く。pの声でも届く。

□ 「母音」の発声法。「いーえーあーおーうー」これを「いー」の発声のまま「息で音を変える」。「口の形」をばくばく変えずに「いーえーあーおーうー」、「口の形」は「息」の補助のつもり。

□「白樺」で具体的レッスンをして頂きました。



1. まず、母音（黒文字アルファベット）を書きました。母音のみで練習します。「いー」の口に近くして、息で母音を変えます。口の形はなるべく変えず、ぱくぱくしない。
2. 出だしの o——は、o—oと絶対に切らない、o——と続けて。
3. 赤↓のところは横隔膜めがけて息を下ろす。母音のみで何度も何度も練習します。
4. 次に赤で子音を書き加えました。
5. 黒アルファベットの母音で練習で発声したまま保ったところへ、次に赤アルファベットの子音を載せる。「ひらがな」で発声しない。「英語（ドイツ語、フランス語、イタリア語等々）」アルファベットで発声する。「ひらがな」は「一文字」だが、アルファベットは二文字（あるいは三文字）で子音と母音のはっきり分かれているから、子音をはっきり発声することで、何を歌っているかが聴衆に解る。
6. 出だし、otomeno の t をはっきり、英語式に t を「破裂音」で。おなじく kamini の k も英語式に「破裂音」で。fule の f も英語式に唇に歯を当てて「擦過音」で。f を長く保って u に入る。皆さんの「うーれー」と聞こえる。子音がいくつもあるつもりで。
7. 緑の○で囲ったアルファベット、m、f、w、b は唇を使う音、意識してくつきり唇を使う。漠然とした唇にしない。
8. よもすがら：iyomosugala と iyo と発音する。
9. ざわめく；zawameku の wa は、あごを落とさず発声する。あごはいままで歌ってきた位置でうごかさないうまま、上唇をしっかり使って wa と発生する。普段しゃべっているときはあごを落として発声するくせがついているので、意識しないとできません。おなじく、shilakaba の ba これも、あごを落とさず、上唇の動きで。
10. 「何を我に告げる」の tugelu は tungelu と ng と発声（鼻濁音）する。

□次に表現の仕方

1. おとめのかみにふれ； ka ；明るすぎる。喉があがっている。音色が明るいとは表現が薄い。

2. おとめのかみにふれ：ふーれー：細い息に変える=音楽的に引き込まれる。
3. その眼差し追い； shi /oi ； 追いの前、ちょっと切る。；oは、はつきり、iは頑張らない。
4. 夜もすがらざわめく：ku；uが課題。いろんなuが聞こえる。uを皆でそろえましょう。
5. 白樺白樺：一回目の白樺；ba——；デクレシェンド；機械的に息の量を少なくして行く。12、11、10、9、8、7、6、5、4、3、2、1と。他はなにも変えない。
6. 白樺✓白樺；一旦切る。一回目の白樺で、フォルタメントぎみの人がいるが、フォルタメントせず、すっきり二回目の白樺に入る。
7. 何を我に；下から説得力を持った歌い方で、しっかり息を吐く。告げるに寄って行く。
8. 告げる；そんなに強くしない。tuのuは響きだけで。
9. ほかも、弱くする箇所を多くした方が効果があがる。

□休憩の後「川の流れるように」でレッスンしていただきました。以下レッスンメモです。

1. 残念ながら言葉が聞こえてこない。
 - ① しらずしらず；子音だけの時間を長くする。
 - ②細く；おそく としか聞こえない。ほはこすって出す。
 - ③長い；naをはつきり。iは音量をへらす。しゃべる時と同じ。
 - ④ふりかえれば はるかとおく ふるさとが見える；みなハ行、擦過破裂音をはつきり。がは nga と鼻濁音で。
2. デコボコ道や曲がりくねった道；心をのせる、意識をこめる、内面で意識を動かす。
3. それもまた； もまた のリズムを強調して。
4. 地図さえない； nnnnai n を強調。
5. 人生一；発音だけきれいなのは面白くもなんともない。和音のニュアンスを変える。心情を変える。
6. 人生の苦勞をもっと全部出して、うたの味にして。
7. 晴れる日が； あれるひが と聞こえている。はとひをはつきり。
8. 青いせせらぎを聞きながら；最後まで息を続ける、意識も最後までをのせる。最後のピアノも鳴っている間、意識を続ける。

□「ベリーグッド！メチャ良い！」とお褒めの言葉をいただいて、楽しく有意義なレッスンを終了しました。今回が亜矢子先生の初めてのレッスンだった新入団員の皆さんも、充実したレッスンに、おおいに啓発、感動されたことと思います。亜矢子先生、毎回ありがとうございます。

連絡事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・5月1日メーデー 7：50 扇町公園 舞台裏集合 オープニングと送り出し演奏。
8000人の熱気あふれる集会になりました。
- ・憲法こわすな！戦争法を廃止へ！5・3おおさか総がかり集会
オープニングとパレード送り出し演奏 扇町公園 12：15 祭典Tシャツ
- ・声楽教室
中村聖保教室参加のアンケート配布しました（曜日、時間4案）。参加希望者はパートリーダーを通じて伊藤副指揮者へ。
- ・関西合唱団第81回定期演奏会
6・25（土）1830開演、26（日）1330開演 いずみホール A席3000 B席2500
チケット希望者は現金を添えて（早いと良い席が入手できます）奥村氏または榎本氏へ。